

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月15日

【四半期会計期間】 第18期第1四半期(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

【会社名】 株式会社アークコア

【英訳名】 ArkCore, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 正 渡 康 弘

【本店の所在の場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第17期 第1四半期 連結累計期間 | 第18期 第1四半期 累計期間 | 第17期 |
|---|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 2019年3月1日 至 2019年5月31日 | 自 2020年3月1日 至 2020年5月31日 | 自 2019年3月1日 至 2020年2月29日 |
| 売上高 | (千円) | 639,797 | 567,201 | 2,272,734 |
| 経常利益又は経常損失() | (千円) | 11,880 | 59,293 | 61,261 |
| 四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() | (千円) | 2,801 | 61,513 | 8,730 |
| 持分法を適用した場合の 投資利益 | (千円) | | | |
| 資本金 | (千円) | 232,825 | 232,825 | 232,825 |
| 発行済株式総数 | (株) | 1,970,000 | 1,970,000 | 1,970,000 |
| 純資産額 | (千円) | 242,702 | 264,193 | 325,706 |
| 総資産額 | (千円) | 848,959 | 1,086,154 | 1,168,299 |
| 1株当たり四半期(当期)純利 益又は1株当たり四半期純損失 () | (円) | 1.58 | 34.63 | 4.92 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 | (円) | 1.51 | | 4.68 |
| 1株当たり配当額 | (円) | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 28.47 | 24.23 | 27.79 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 46,249 | 14,509 | 16,731 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 26,241 | 588 | 74,637 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 10,964 | 52,187 | 201,516 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 187,587 | 478,836 | 546,122 |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は、当第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、第17期第1四半期累計期間に代えて、第17期第1四半期連結累計期間について記載しております。

3 第18期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

4 第17期及び第18期第1四半期累計期間の持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社を有しておりませんので、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、前年度第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していましたが、四半期財務諸表を作成していませんでしたので、前年同期との対比は記載していません。

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、2020年1月～3月期の四半期別GDP実質成長率が2四半期連続でマイナスとなりました。新型コロナウイルス感染症により、企業収益は急速に悪化しており、雇用情勢は有効求人倍率が大きく減少し、個人消費は実質消費支出額が減少しております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業となっております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

バイクの買取台数は2,704台（前年同期比2.7%減）、販売台数は2,395台（同3.5%減）となりました。また、業者間オークションの相場は、3月、4月は低調であったものの、5月には回復基調となったことから、売却単価は前年同期比1.5%増、粗利単価は同4.9%減となりました。また、販売費及び一般管理費は、買取りに係る広告費は前年同期比10.2%増、人件費は同4.3%増となりましたが、その他の費目は金額的には横這いで推移しました。

バイク事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高510百万円、セグメント損失24百万円となりました。

(フィットネス事業)

当社は、2020年1月に子会社を吸収合併したことにより、エニタイムフィットネスFC5店舗、ステップゴルフFC2店舗を運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。その結果、当事業の売上高は、前年同期に子会社で計上した売上高と比較して大幅に減少しております。

フィットネス事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高56百万円、セグメント損失39百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高567百万円、営業損失63百万円、経常損失59百万円、四半期純損失61百万円となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末において総資産は1,086百万円となり、前事業年度末と比較して82百万円減少しました。主な要因としては、金融機関からの長期借入金の返済等で現金及び預金が66百万円減少し、商品が42百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末において負債は821百万円となり、前事業年度末と比較して20百万円減少しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が38百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末において純資産は264百万円となり、前事業年度末と比較して61百万円減少しております。これは、四半期純損失61百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物は478百万円となっております。当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は14百万円となりました。主な要因としては、支出した資金としては、税引前四半期純損失59百万円の計上及びたな卸資産の増加額42百万円によるものであり、得られた資金としては、売上債権の減少による増加額44百万円、その他の流動負債の増加による増加額36百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において、特筆すべき重要な支出及び収入はありません。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は52百万円となりました。主な要因としては、支出した資金としては長期借入金の返済による支出58百万円、短期借入金の返済による支出12百万円によるものであり、得られた資金としては長期借入れによる収入20百万円によるものであります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 7,880,000 |
| 計 | 7,880,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年5月31日) | 提出日現在 発行数(株) (2020年7月15日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 1,970,000 | 1,970,000 | 名古屋証券取引所 (セントレックス) | 単元株式数は100株でありま す。 |
| 計 | 1,970,000 | 1,970,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2020年5月31日 | | 1,970,000 | | 232,825 | | |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年5月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 193,600 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 1,776,100 | 17,761 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 300 | | |
| 発行済株式総数 | 1,970,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 17,761 | |

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2020年5月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社アークコア | 東京都足立区椿二丁目 2番2号 | 193,600 | | 193,600 | 9.83 |
| 計 | | 193,600 | | 193,600 | 9.83 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期財務諸表等規則第4条の2第2項により、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

また、当社は当第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報を記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年2月29日) | 当第1四半期会計期間 (2020年5月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 550,322 | 483,487 |
| 売掛金 | 68,469 | 24,109 |
| 商品 | 191,863 | 234,512 |
| 貯蔵品 | 2,506 | 2,506 |
| 前払費用 | 37,121 | 35,930 |
| その他 | 6,668 | 6,264 |
| 流動資産合計 | 856,952 | 786,809 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 152,698 | 148,653 |
| 無形固定資産 | 11,636 | 10,475 |
| 投資その他の資産 | 147,010 | 140,214 |
| 固定資産合計 | 311,346 | 299,344 |
| 資産合計 | 1,168,299 | 1,086,154 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,528 | 5,418 |
| 短期借入金 | 24,998 | 12,497 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 40,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 229,180 | 217,202 |
| 未払法人税等 | 15,385 | 17,832 |
| 賞与引当金 | 10,091 | 2,546 |
| その他 | 84,305 | 121,784 |
| 流動負債合計 | 413,488 | 417,280 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 140,000 | 140,000 |
| 長期借入金 | 274,167 | 247,400 |
| その他 | 14,938 | 17,280 |
| 固定負債合計 | 429,105 | 404,680 |
| 負債合計 | 842,593 | 821,961 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 232,825 | 232,825 |
| 資本剰余金 | 266,598 | 266,598 |
| 利益剰余金 | 100,858 | 162,371 |
| 自己株式 | 73,858 | 73,858 |
| 株主資本合計 | 324,706 | 263,193 |
| 新株予約権 | 1,000 | 1,000 |
| 純資産合計 | 325,706 | 264,193 |
| 負債純資産合計 | 1,168,299 | 1,086,154 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 567,201 |
| 売上原価 | 310,770 |
| 売上総利益 | 256,430 |
| 販売費及び一般管理費 | 320,008 |
| 営業損失() | 63,577 |
| 営業外収益 | |
| 受取手数料 | 1,314 |
| 助成金収入 | 4,865 |
| その他 | 389 |
| 営業外収益合計 | 6,569 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,989 |
| 社債利息 | 295 |
| 営業外費用合計 | 2,285 |
| 経常損失() | 59,293 |
| 税引前四半期純損失() | 59,293 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 836 |
| 法人税等調整額 | 1,383 |
| 法人税等合計 | 2,219 |
| 四半期純損失() | 61,513 |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 2020年3月1日
至 2020年5月31日)

| | |
|-------------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失() | 59,293 |
| 減価償却費 | 8,591 |
| のれん償却額 | 622 |
| 株式報酬費用 | 4,394 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 7,545 |
| 受取利息 | 7 |
| 支払利息 | 1,989 |
| 社債利息 | 295 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 44,360 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 42,649 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 4,109 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 1,428 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 36,888 |
| その他 | 2,634 |
| 小計 | 12,399 |
| 利息の受取額 | 30 |
| 利息の支払額 | 2,139 |
| 法人税等の支払額 | 0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,509 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | 450 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 133 |
| 差入保証金の差入による支出 | 5 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 588 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の返済による支出 | 12,501 |
| 長期借入れによる収入 | 20,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 58,745 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 455 |
| 割賦債務の返済による支出 | 486 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 52,187 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 67,285 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 546,122 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 478,836 |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

| 当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|--|
| (新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当社のフィットネス事業は東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、休業いたしました。今後の当該感染症の拡がり方や収束時期の見通しによっては、当社の業績に大きな影響が及ぶことが想定されますが、当社における固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りにあたっては、2020年6月の全店舗での営業再開後、2021年2月の事業年度末にかけて、当社業績は徐々に回復していくものと仮定して判断しております。 |

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|----------|---|
| 広告宣伝費 | 40,503千円 |
| 給与手当 | 85,741千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 2,546千円 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|------------------|---|
| 現金及び預金 | 483,487千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 4,650千円 |
| 現金及び現金同等物 | 478,836千円 |

(株主資本等関係)

当第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計(注) |
|------------|---------|----------|---------|
| | バイク事業 | フィットネス事業 | |
| 売上高 | 510,521 | 56,680 | 567,201 |
| セグメント損失() | 24,365 | 39,212 | 63,577 |

(注) 「セグメント損失()」は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) |
|---|---|
| 1株当たり四半期純損失() | 34.63円 |
| (算定上の基礎) | |
| 四半期純損失()(千円) | 61,513 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | |
| 普通株式に係る四半期純損失()(千円) | 61,513 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,776,333 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、2020年6月26日開催の取締役会決議により、第3回無担保社債(私募債)を発行いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 発行総額：150,000,000円
2. 社債の利率：年0.35%(保証料他は除く)
3. 発行価額：額面100円につき金100円
4. 償還金額：額面100円につき金100円
5. 償還期限：2025年6月30日
6. 償還方法：半年毎定時償還
7. 払込期日(発行日)：2020年6月30日
8. 保証人：株式会社埼玉りそな銀行
9. 財務代理人：株式会社埼玉りそな銀行
10. 総額引受人：株式会社埼玉りそな銀行
11. 振替機関：株式会社証券保管振替機構
12. 資金の用途：運転資金(主として商品在庫調達用資金に充当)

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月14日

株式会社アークコア
取締役会 御中

監査法人コスモス

| | | | | | | | |
|----------------|-------|---|---|---|---|---|---|
| 代表社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 富 | 田 | 昌 | 樹 | 印 | |
| 業務執行社員 | 公認会計士 | 相 | 羽 | 美 | 香 | 子 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アークコアの2020年3月1日から2021年2月28日までの第18期事業年度の第1四半期会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アークコアの2020年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。